

	資料6-2 方策2の進捗状況資料（含「中学生が参加可能な地域活動一覧」） 資料7 部活動地域移行説明動画に関する児童生徒の感想 資料8 岩倉市部活動地域連携・地域移行だよりNo.3(案) 資料9 令和6年度小学校・中学校の学校開放使用状況 資料10 これまでのアンケート調査等、柔道部とサッカー部の合同練習および部活動指導員の配置に関する効果を検証するための部員アンケート（案） 資料11 部活動の地域移行に関する座談会の開催について（案）
公開・非公開の別	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開
傍聴者数	0 人
その他の事項	

審議内容(発言者、発言内容、審議経過、結論等)
<p>1 開会</p> <p>2 あいさつ</p> <p>教育長：児童生徒の有志に視聴してもらった部活動地域移行説明動画を先に見ていただいた後に、議題に入りたいと思います。</p> <p>動画視聴</p> <p>教育長：今後重要となる論点の説明をします。</p> <p>国は休日の部活動から段階的に地域移行すると言っていますが、平日の部活動については地域移行するかどうかは明確になっていません。現行の学習指導要領には部活動は学校教育の一環であると明記されているため、学習指導要領の改訂にも大きく左右されます。</p> <p>休日の部活動の地域移行は令和5年度から令和7年度までを推進期間とされていますので、地域移行を明言している自治体の多くは令和8年度の中学3年生が引退後からとしています。その際、平日と休日の部活動が分断していいのか、休日だけ先に地域移行していいのか、平日も一緒に地域移行した方がいいのではないかという議論になります。休日と平日の話は別としても、地域移行をいつ行うのか、一斉に行うのか、可能な部活から順次移行するのかといった議論もあります。</p> <p>実施主体については、岩倉市にはプロスポーツチームや企業、大学、NPO法人といったものはありませんので、総合型地域スポーツクラブ、スポーツ協会、自治体、地域学校協働本部といったところでの議論になりますが、部活動ごとに実施主体を別とすることも可能だと考えています。</p> <p>当面行うべきことの詳細案について提案をしますが、今申し上げた本質的な論点についても考えていただけたらと思っています。</p> <p>教育部長：委員の変更がありましたのでご報告します。岩倉中学校の部活動指導者代表として七澤</p>

委員から滝委員へ、南部中学校の保護者代表として櫻井委員から河村委員へ変更となりました。任期は2年任期ですが、前任者の残任期間となるため、令和7年3月31日までとなります。

昨年に引き続き、会長には有尾委員、副会長には今井委員をお願いいたします。

3 議題

議題（1）中学校部活動の地域連携・地域移行に向けた取組

事務局：資料3，4に基づき説明

事務局：資料5に基づき説明

学校長：資料6-1 P1～2に基づき説明

学校長：資料6-1 P3～4に基づき説明

事務局：資料6-2に基づき説明

教育長：資料6-2、資料7に基づき説明

委員：保護者としては不安な部分が多く、子どもたちがついていけるのか、費用面などにも不安があります。

委員：子どもたちが不満を持つと予想していましたが、ふたを開けてみると問題はありませんでした。ただ、部活動が無くなったり、顧問が変わったりすると不満が出ると思います。平日の部活動の時間が1時間になったことによる不満は確認していません。

副会長：コロナ禍の前後で部活動の時間が短くなったと思いますが、指示が国からあったかどうか、また、時間が短くなったことによる子どもたちの不満の有無が気になります。

会長：部活動の意義に関わることだと思います。

委員：部活動の意義については教員である自分の中でも変わってきています。今の子どもたちには楽しい思い出になって欲しいと思いながら活動時間を1時間としています。子どもたちが我慢しているのかどうかは分かりません。

委員：昨年から懇談会に参加していますが、話が進んできたと思います。様々な活動を進めていき、参加した子どもたちの意見を聞いてみたいと思います。保護者としては、学校としての活動なのか学校から切り離された活動なのかの確認は出来るとよいと思います。

教育長：保護者に不安があるのは当然だと感じます。これまでの部活動は、学校の教育活動の一環として教員が指導を行い、問題にも対応し、バックに教育委員会があったことで保護者の安心感に繋がっていたと思います。地域移行においては、これに代わる実施主体が必要であり、現時点では行政の関わりが必要だと考えています。

会長：資料3のP7、方策1に地域部活動の検討とあり、方策2に学校教育から社会教育へ拡充するとあります。地域部活動と社会教育は別になると考えていますが、用語の説明を事務局から願います。

教育長：明確な用語の区別が出来ていませんが、住み分けを考えていく必要があります。

委員：岩倉中学校で部活動の時間、日数が減ったことに対する子どもたちの反応について報告します。部活動の時間が減ったことにより、もっとやりたいと思う子も、別のことに集中できると思う子もいます。時間を減らすだけではいけないので、専門的な活動ができるように、部活動指導サポーターの募集をしました。地域の人が入ってよかったと思っている子どもは多くいますし、顧問も楽になりました。顧問が出張で不在の場合でも指導を依頼でき、中学1年生と中学3年生で指導内容が異なる場合にも対応できます。

委員：子どもたちは昔に比べると活動時間が減った中で効率のいい練習を模索していると思います。吹奏楽部では少し演奏したら部活動が終わってしまう、みんなで合わせるのが楽しいのに物足りないという子もいます。物足りないのを自宅で練習する子もいますが、学校でしか練習を出来ない子もいますので学校で限られた時間だけというのは難しいと感じます。

方策1と方策2は違うものではありますが、部活動指導サポーターの方がいる団体だったら参加したいと子どもたちが思ってくれて繋がっていくと理想だと考えています。

委員：資料7は小学生の意見が多いが、部活動経験のある中学生の意見も多いとよかったと思います。

委員：柔道の合同部活動は毎週のように両中学校を行き来して行っています。4月から部活動指導員の方に参加していただき、中学1年生も新しい指導者という認識が無い状況で基礎から指導してもらっています。意欲的な子は普段いない相手に挑戦するのを楽しみにしていますが、意欲の無い子はマンネリ化しています。両中学校でも2極化していますので、顧問同士で打ち合わせをして修正していく必要があると思っています。

議題（2）地域連携・地域移行に向けての意見交換

事務局：資料8に基づき説明

学校長：資料6-1 P2に基づき説明

あいち地域クラブ活動人材バンクの登録者の面談について、校長1人で面談を行うのが課題となっています。

学校長：資料6-1 P4に基づき説明

剣道部は廃部となりましたが、土日に岩倉中学校での部活に参加できないかと考えています。また、人材バンクへの応募者がいない状況です。

委員：資料6-1 P2の最後、どちらかの中学校で廃部となる場合に、どのような方針とするのかを考えたいです。

岩倉中学校のみで団体戦のチームが作れる場合に、南部中学校の生徒をレギュラーに入れると岩倉中学校の生徒や保護者から不満が出る可能性があることが懸念されますので、合同チームとする場合にどの様に対応すべきかの意見を頂きたいと思います。

事務局：資料9に基づき説明

教育長：資料10、資料11に基づき説明

部活動の活動時間が短くなった結果、物足りなくなったのでクラブチームに入れたという家庭は聞きました。フィットネスダンスをやっている子が野球部に参加するというマルチスポーツとなっているケースもあります。以前は授業を見に行くと、寝ている子もたまにいましたが、今年はいませんでした。アンケートを取らないと実際のところは分かりませんが部活動で疲れていた子が起きていられるようになったのではないかと考えられます。

子どもたちへの第2弾の説明動画を作成中です。子どもたちに部活動をどうしていきたいのかを考えて欲しいと思っています。子どもだけで解決できる問題ではなく、子ども、保護者、教員、地域指導者にそれぞれの意見があるため、お互いの意見を擦り合わせる場を何度も用意しないと決められないと思っています。

会長：部活動が学校から切り離されることに対する不安について、その不安を緩和するために、資料3の方策1で地域部活動へ実施主体が引き継がれていくか、合同部活動が橋渡しを行うのではないかと考えています。合同部活動のサッカー部についても話を聞けたらと思います。

委員：サッカー部は部活動指導員の意見を聞きながら行い、子どもたちは専門的な指導を受けられて喜んでいますが、別の学校の子と一緒にやっているという感覚はまだそれほどないため、中学1、2年生が大会に出ていくにあたって検証を行っていきます。

課題は、普段別々の場所でやっている子が土日のみに合同で行うことにモチベーションを維持できるかどうかです。クラブチームは土日のみでモチベーションを維持しているが、意欲の高い子

が集まっているため、部活動でも大丈夫なのかどうかです。

会長：柔道部の大会への参加についてはどんな状況ですか。

委員：柔道部では、今のところは合同で大会に参加するメリットが無いので考えていません。

会長：サッカー部は将来的に合同参加する予定ですか。

委員：9月以降の大会にはアンダー13、アンダー14という基準があるので合同チームと一緒にやっています。夏の大会は、春から夏に合同チームで練習をしてみて、子どもたちが合同チームで出場したいということであれば合同チームで出場していくとよいなと思っています。

会長：南部中学校にない剣道部や、男子バレー部で合同部活動を実施する場合に想定される課題はありますか。

教育長：休日の部活動だけを地域移行し、休日と平日で仲間が違う、指導者が違うと活動が分断されます。大会に出る場合には、対外練習が出来る土日も出席する子が優先されることになると思われます。合同部活動が先に地域移行するとしても、出来る限り連続性を保って練習できるように地域指導者の参加もお願いしたいです。

子どもたちの環境を出来る限り今までどおりにしたいというのが私の思いですので、南部中学校で剣道部が無くなったのであれば、岩倉中学校で合同チームにしてあげたいと思います。その際に問題となるのは、合同チームは、両方の学校に部活動があるから合同チームとなることです。南部中学校に顧問がおらず、部活動が存在しないと合同部活動とすることが制度的に出来ないことが課題です。

副会長：学校ではなく、地域団体では無理でしょうか。

教育長：地域移行をすれば可能です。そういう団体があればですが、地域移行していくのも有りだと思います。

会長：岩倉剣道クラブというのを仮に作ったとして、理想は平日もどこかで部活動的な活動を行い、部活動の雰囲気維持しつつ、市の中学生が集まってくる活動となり、そのまま大会にも出られるというのが具体的なイメージでしょうか。

教育長：一番簡単な方法としては、南部中学校に仮の顧問を置き、平日は自主練習、土日には合同練習、大会も合同参加という形です。それにも限界があるため、地域移行を考える必要があります。

委員：最終的には地域移行になると思いますが、複数の学校の部活動を取りまとめる拠点校部活動についても考えたいと思っています。A校では平日の部活動は無いが、休日の部活動を拠点校で行うことが出来る、といった形で出来ないかと研究中です。

教育長：犬山市でそういったことを始めようとしているとは聞いています。犬山市の場合は学校に部活動は設置していると思っていました。ただ、学校に部活動を設置しないのは難しいと思います。

委員：大会の参加ルールはどうなっていますか。部活動に参加していないと大会に参加できないといった話があるから今の話になったのだと思っています。

委員：中小学校体育連盟の大会についても、地域クラブが出れる場合と出れない場合があります。拠点校部活動や合同部活動も上位大会になると出れない場合があります。多様化のために中小学校体育連盟も見直しをしていますし、学校からも要望を行い、できることを探っている段階です。

委員：子ども達は、仲良しクラブでやりたい子と、上を目指したい子とで大分違います。やる気があれば初めに上手ではない子でも指導者次第で成長できますが、目の前で欠伸しているような子と同じ場所で指導するのは指導者としても大変なことです。部活動指導サポーターをやってみないと分からない部分がありますが、子どもたちの安心のためにも教員と地域指導者との連携を密にしていけたらと思います。

委員：楽観的にみると、地域移行が進み指導者が増えると、指導者が指導者を呼び、仮の顧問による部活動の設置でも地域人材による指導が出来るのではないかと考えています。

委員：自分が子どもだとして、他の学校の子にレギュラーの座を奪われたら悔しいだろうなと思います。人数が足りない部活動に他の学校の子が来てくれて大会に参加できることになるなど、望まれて参加するのが理想だと思います。

櫻井委員：悔しい話も本音だと思います。子どもたちにスポーツ文化環境を提供することが方針なので、時間をかけてその環境を整えて、理解をはかっていきたい。始めはハレーションがあるとは思いますが、岩倉市やスポーツ協会、文化協会からの後押しが欲しいと考えています。

委員：今回が初参加の私にはまだ難しい問題だと感じます。母親の立場としては部活動の地域移行について分かりやすくしてほしいです。

副会長：失敗はあっても前を向いて進まないといけないと思います。

本日の説明動画を他にも見せたいと思いますので、お借りすることは出来ますか。

教育長：可能です。

委員：教育委員会としてこの会議を開催してもらっていますが、中学校のみの部活動の問題ではなく、岩倉市の中学校世代のスポーツ、文化環境を整える問題だと捉えて岩倉市としての後押しが欲しいと思っています。

会長：部活動を地域の既存、新規の団体に活動に移していくのが未来にあるのかとは思いますが、差し当たっては部活動を徐々に変化させていくのが現実的な話として共有できたと思います。

学校が面接をしたり、地域の方に声をかけたりしたのが大きく、学校が頑張っていると感じますので、敬意を表したいと思います。事務局に進行を戻します。

教育部長：本日はありがとうございました。

次回は11月の中旬ごろに実施予定です。報告と意見交換をお願いしたいと思います。

以上で閉会します。